

国立精神・神経医療研究センターで「東京都における飲酒問題調査研究」に試料・情報を提供いただいた方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センターで「東京都における飲酒問題調査研究」でご提供いただいた試料・情報の一部を、下記の研究のために使用いたしますので、下記のとおり情報公開します。

この研究で試料・情報を使用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございません。

ご不明なことなどがありましたら、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

1. 対象となる方

東京都における飲酒問題調査研究の研究に参加された方

研究課題名: 東京都における飲酒問題調査研究 (承認番号 A2025-017)

研究責任者: 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 精神薬理研究部 西澤 大輔

該当の期間: 2025 年 6 月～2025 年 8 月

2. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: DNA 試料

(取得方法) 研究対象者自身による頬部粘膜採取

情報等: 年齢、性別等の基本属性、飲酒行動、喫煙歴、依存関連行動、生活背景、心理社会的要因、精神健康状態に関する質問票データ

(取得方法) 自記式調査

3. 試料・情報の利用目的及び利用方法

「東京都における飲酒問題調査研究」において取得された DNA 試料及び質問票データを二次利用し、「飲酒行動に関連する行動・心理社会的プロファイルの探索的研究」を実施します。

本研究では、飲酒行動、依存関連行動、心理社会的要因、精神健康状態及び遺伝学的要因等を統合的に解析し、飲酒行動に関連する潜在的な行動・心理社会的プロファイルを探索的に検討することを目的とします。既存研究にて解析を行いましたアルコール代謝に関連する遺伝子 (ADH1B、ALDH2) に加え、本研究では、依存関連行動や社会行動との関連が報告されている遺伝子 (DRD2、OXTR) について、既知の遺伝子多型を対象として解析を行います。本研究では、これらの限られた遺伝子の数箇所の多型を解析するものであり、全ての遺伝子を網羅的に調べるものではありません。

本研究により、飲酒行動と依存関連行動、精神健康状態に関連する要因への理解が深まり、将来的には飲酒問題の予防や早期支援の方法の開発につながることが期待されます。

4. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

5. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立精神・神経医療研究センター

所属: 精神保健研究所 精神薬理研究部 氏名: 西澤 大輔

電話番号: 042-341-2712 (内線: 562)

e-mail: nishizawa-ds※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)